

- ・黒字化については熱心に検討した。その結果、定期利用の団体の登録を増やすことにした。定期利用とは毎月あるいは毎週同じ日に利用してもらうことで、その団体の利用申込みは、一般が2か月前であるが、3か月前からとした。ほぼ必ず利用できるので利用者にとっては有利であるので、さくらんぼホールを利用したい団体が増えた。現在の定期利用団体は約30団体。

また、利用料金が他の会館よりも高額であることも黒字の理由である（最低会員和室1000円、最高非会員ホール2000円）。
メリットがあるから利用料を高く設定できる。

- ・申込受付は、毎週火曜日9時～10時に受付（女性2名が交替で勤務）
- ・鍵受渡しは、向かいの商店で使用許可書を提示し受け取る
- ・設備更新について、ヒートポンプ式エアコンの更新に800万円かかるが、黒字の積立金で対応する。玄関ホールの照明を省エネのLEDに交換する費用130万円は市役所に依頼している。
- ・名称は公募して「さくらんぼホール」とした。自治会の会館ではない。自由に使う趣旨。

○つくし野会館の運営の規約も今後作成していく。

○委員意見質問：定期利用団体についての質問多数。

鵜養：施設はちゃんと利用されなければだめ。利用されるような作り方と運営をすることが大切。

- 2 農事センター跡地に防災倉庫を設置するための要望書を各自治会に提出する。
- 3 ふれあい基金運営委員会に現状の進捗状況を説明する（7月最後の月曜日）
- 4 会館のネーミングは自治会館でなく、みんなが使用するイメージの親しみやすいものを公募等も含めて検討。
- 5 会館『Q&A』の作成。クエッションを委員から募集する。住民説明会は11月の土日午前中に実施する。

次回委員会日程 8月10日（金）17時30分～ つくし野コミュニティセンター